

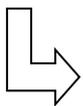
## 第2回 長崎下水道場～結果報告～

### ○下水道場とは

- 下水道関係組織においても行政改革に伴う職員採用の抑制や経験豊富な職員の退職等により、技術やノウハウの継承が問題となっている。
- 一方で、事業量の減少や民間への業務委託の増加により、若手職員は自らの組織の業務だけでは十分な知識、情報を得ることが難しい状況となっている。
- このような状況に鑑み、平成24年9月、国土交通省によって、下水道事業の持続的・安定的な運営や一層の発展のため、若手職員同士が交流し、お互いの悩みや検討課題を相互に相談する場として「下水道場」が設立された。

### ○長崎県版下水道場の設立

- 本県においても同様の問題を抱えており、下水道場を活用して若手下水道職員の育成に努めていきたいが、旅費等の予算の問題から、参加者は少ない状況にある。(H28の下水道場への全国からの登録者112名のうち、本県からは2名のみ)
- また、下水道にかかる県内会議、九州会議は比較的多く開催されているものの、若手職員が参加できる会議は少なく、中堅職員が多くを占めている。



長崎県下水道若手職員のネットワーク形成・スキルアップを図るとともに、今後の長崎県下水道事業の発展を目的として、長崎県版下水道場を設立！

そして今回、第2回長崎下水道場を以下のとおり開催しました。

(※第1回長崎下水道場はH28.9.21に開催)

○日時：平成29年8月31日(水) 13:10～17:30

○場所：長崎交通産業ビル4階 「えきまえ」いきいきひろば11号室

○対象：長崎県内下水道若手(概ね35歳以下)職員

○参加：長崎県内7市町(下水道事業実施：16市町)24名

○名称：長崎下水道場～やるばい長崎下水道場～夜景に負けない若手の輝き～

### ○会次第

・開会挨拶 長崎県 環境部 水環境対策課長補佐 其田 智洋

#### ①講義

「土木のイメージアップ大作戦」

噂の土木応援チーム デミーとマツ 長崎大学 出水 享

#### ②グループ討議

議題：「下水道のイメージアップについて」

グループ討議→発表→総括・講評(出水享)

#### ③現地研修

・「長崎駅周辺の再開発について」

長崎市 下水道建設課 建設1係長 古瀬 治男

・「マンホールの蓋開け体験会」

日之出水道機器(株) 長崎営業所 所長 森 伸悟

【講義】「土木のイメージアップ大作戦」 出水 亨

噂の土木応援チーム「デミーとマツ」として、小学生などを対象に土木と触れ合うイベントを企画している、長崎大学の出水亨先生より、「土木のイメージアップ」について、興味を引かせるSNSをどのように発信していくか、土木のイメージアップをするためにどのような活動をしているか等、お話をいただきました。



長崎大学 出水亨先生より



講義様子

【グループ討議】

議題「下水道のイメージアップ」に対する、案をグループごとに討議し、グループごとに発表しました。

- ・グループ討議の内容は以下の2つにしました。

下水道の認知度アップ、下水道ファンを増やすために.....

議題①下水道グッズを3つ考えてください。

議題②下水道のイベントを企画してください。



グループ討議の様子



発表

◎A班〔山口(長崎市)/古賀(佐世保市)/山中(諫早市)/北川(大村市)/中山(長崎県)〕

- 議題①：
  - ・ポロシャツ：公用で着れて、PRできる。(自費で作成)
  - ・コースター：日常的に利用できる。
  - ・うちわ：うちわの面にマンホールなど下書きをして色塗りをさせたら楽しいと思う。
- 議題②：「下水道さるくツアー」  
内容) 子どもを対象に下水処理施設で下水の仕組みを学ぶコースを決めて(パネルや問題を設置)最後に検定を行い、下水道グッズをプレゼントする。

◎B班〔森田(長崎市)/久野、村田(佐世保市)/馬渡(諫早市)〕

- 議題①：
  - ・ハンドスピナー：話題性がある。子ども向け。
  - ・カレンダー：月毎に県内のマンホールの写真など載せたら面白い。
  - ・缶詰：処理場の匂いなどを再現できると話題作りになる。
- 議題②：「うんちまつり」  
内容) 子どもを対象に、ビデオの上映、本管カメラの操作、処理場などの見学植物を育てるなど色々と体験してもらう。

◎C班〔川下(長崎市)/伊藤(佐世保市)/野田、樋口(大村市)/深江(西海市)〕

- 議題①：
  - ・ガチャポン：子どもに人気だから。
  - ・ポロシャツ：ご当地マンホールデザインのアピール
  - ・コースター：主婦などに人気。あったら使うと思うから。
- 議題②：「水をきれいにする下水道レンジャー」  
内容) 親子を対象に、敵を油や洗剤などにして、下水処理の工程ごとにレンジャーが戦うもの。

◎D班〔里(長崎市)/草場(佐世保市)/大峯、福谷(大村市)/勝矢(雲仙市)〕

- 議題①：
  - ・お菓子：オレオなどマンホールの形に似たものを参考にする。
  - ・缶バッチ：マニアが出てくるのでは。
  - ・タオル：日用品であるから。
- 議題②：「マンホールフェスティバル」  
内容) 子どもを対象に、マンホール早開け大会、水道管でそうめん流し、マンホール蓋で焼肉、スタンプラリーなどをしてもらう。

◎E班〔岩永(長崎市)/山下(佐世保市)/横山(大村市)/松本(雲仙市)/田崎(東彼杵町)〕

- 議題①：
  - ・カレンダー：日用品である。人目につきやすい。
  - ・マリオとコラボ：老若男女が知っており、話題性がある。
  - ・コースター：安価で、誰でも利用する日用品であるから。
- 議題②：「マリオと脱出ゲーム～逃げろ！うんこが迫ってくる～」  
内容) 子どもを対象に、下水道管のような迷路をつくり、マンホールがあるところでクイズに答えて、脱出を目指す。ゴールできたらマリオとコラボした限定グッズをプレゼントする。

<グループ討議講評>

出水亨（長崎大学）先生より、下水道グッズについてカレンダーは費用もかからずで作れるし、毎月県内各市町で担当を振り分けて作成したら面白いのではないかと意見をいただきました。（※今後、出水先生と県、各市町出席者で協力してカレンダーの作成を予定）また、実際に出水先生が作成した T シャツ（実際のマンホールに特殊なインクをつけて押したもの）（※下写真参考）を見せていただきました。

イベントの企画については、イベントの対象者は子どもにするべき。との講評をいただきました。いずれの班も対象者は子どもにしてありますが、対象を子どもにすると親も一緒に参加し、親の間の口コミでも情報が拡散されていくので良いということでした。



出水先生より講評 オリジナル T シャツを着用しています

【長崎駅周辺の再開発について】長崎市 下水道建設課 係長 古瀬治男

長崎駅周辺の浸水対策についての説明を長崎市古瀬係長より、新幹線事業など、土地区画整理事業が混同する長崎駅周辺で連携をとりながら浸水対策をどのように進めていくのか、など実際の現場で説明をしていただきました。



現地研修 写真1



写真2

【マンホールの蓋開体験会】 日之出水道機器（株）

日之出水道機器株式会社の協力で、マンホール蓋開け体験会を実施しました。形式が違う2種類のマンホールを開け、自治体によっては蓋開けの経験がある方もおり、経験者にも教わりながら1人1回蓋開けの体験をすることが出来た。



日之出水道機器（株）より 蓋開けの説明



マンホール蓋開け体験の様子

【最後に】

第1回長崎下水道場と比べると、参加人数、参加自治体数は若手職員の減少などにより少なくなりましたが、第1回時の実施後アンケートでの最も意見が多かった「現場見学を実施してほしい」という声は実現することが出来ました。講義に関しても、普段関わる機会が少ない若手職員で意見を交換したり、実際に土木のイメージアップをするために活動している方の話を聞くことができたり、新たな経験が第2回下水道場をとおして体験できたと思います。

